

山口情報芸術センター [YCAM]

山内祥太 + YCAM 新作パフォーマンス&インスタレーション

匂いのモニュメント 忘れ去られたエロス

2025年1月11日(土)、12日(日)、18日(土)、19日(日) 各日1回上演(詳細は4ページ記載)
山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB

テクノロジーと身体表現の新しい可能性を切り開いてきたアーティストによる 新作パフォーマンス&インスタレーション

山口情報芸術センター [YCAM] では、アーティストの山内祥太(やまうち・しょうた)による新作パフォーマンス&インスタレーション「匂いのモニュメント 忘れ去られたエロス」を開催します。

山内は近年、「匂い」に着目した舞台作品やインスタレーションを発表し続けています。今回、YCAMとのコラボレーションにより発表する作品は、「体臭」を起点に個人と社会の関わり方を考える、インスタレーション型パフォーマンス作品です。

本作では、匂いを発する人や物が過度に制限された結果生じる「無臭社会」とも言える未来の世界が描かれます。ここでは自身を表現する匂いも、記憶を呼び起こす匂いもありません。未来の人々は、失ってしまった匂いをどのように悼むのでしょうか。

コミュニティを形成するなかで、他者の存在を認める寛容さが求められる一方、無意識のうちに他者との境界を生じさせる、匂いの存在。匂いを出発点に描かれる本作の体験を通じて、現代社会におけるテクノロジーやコミュニケーションのあり方について深く考えるきっかけとなるでしょう。この機会にぜひご覧ください。



メイン・ビジュアル: 山内祥太

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課 広報担当
TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp
〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 www.ycam.jp
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

パフォーミング・アーツを更新する——挑戦的な表現に注目してきたYCAM



「縛られたプロメテウス」2021年 撮影：山中慎太郎 (Qsyum!)

YCAMにおける、展覧会や映画上映と並ぶ活動の柱が、ダンスや演劇などのパフォーミング・アーツ作品の上演です。パフォーミング・アーツというジャンルを更新するような挑戦的な表現、特に、メディア・テクノロジーを通じて舞台という空間と身体のある方を揺るがすような表現に注目し、開館以来、アーティストと協働しながらメディア・テクノロジーを応用した新作を制作／発表してきました。またアーティストの小泉明郎（こいずみ・めいろう）によるVRを用いた体験型の演劇作品「縛られたプロメテウス」（2021年上演）や、知的障がいのある俳優たちを中心に運営されるオーストラリアの劇団、バック・トゥ・バック・シアターによる「影の獲物になる狩人」（2023年上演）など国内外の優れた作品を紹介してきました。

今回作品を発表する山内祥太は、VR や3DCG といったデジタルイメージと身体を粘土で彫刻するかのように組み合わせた作品を国内外で制作／発表し続けており、そのテクノロジーと人間の関係を考察した作品は「第25回文化庁メディア芸術祭」アート部門優秀賞を受賞するなど注目を集めています。

また、近年は「匂い」に着目し、自身初となる演劇作品「汗と油のチーズのように酸っぱいジュース」（2023年、KYOTO EXPERIMENT）では、嗅覚アーティストであるマキ・ウエダとのコラボレーションによる、観客の嗅覚に直接働きかける演出が大きな話題を呼びました。ここに連なる作品として発表されるのが「匂いのモニュメント 忘れ去られたエロス」です。

■ 山内祥太（やまうち・しょうた）

1992年生まれ。自己と世界との関係性や、現実と空想の裂け目といったものをさまざまな方法で明らかにしようと試みてきた。映像、彫刻、VR、パフォーマンスなど表現メディアは多様で、身体性の生々しさや人間らしい感情と現代のテクノロジーを対峙させ、作品制作を行う。主な個展に「メディウムとディメンション：Apparition」青山目黒（東京／2023年）など。主なグループ展に「六本木クロッシング2019展：つないでみる」森美術館（東京／2019年）、「アルスエレクトロニカ・フェスティバル2022」ヨハネス・ケブラー大学（オーストリア リンツ／2022年）など。



除菌、消臭、脱臭——無臭化を謳う現代社会の行きつく未来は？



「匂いのモニュメント 忘れ去られたエアロス」
会場イメージ：山内祥太

本作は、山内祥太が近年関心を寄せるテーマ「匂い」を起点に、理性と感覚とのせめぎ合いや個と社会との関係性を描き出すパフォーマンス&インスタレーションです。「汗と油のチーズのような酸っぱいジュース」(KYOTO EXPERIMENT)で初の演劇作品に挑戦した山内は、上演中に観客の脇の下の汗を採取し、公演中に彼らの体臭から「匂いのジュース」を蒸留。そのジュースを登場人物や観客に吹きかけることで、匂いにまつわるイメージを刺激する試みが大きな話題を呼びました。ここに続く新作として山内とYCAMは、「体臭」をテーマに、化学とフィクションを組み合わせることで紡がれる、独自の物語を展開します。振付家・ダンサーの振子びじんと共同演出にもご注目ください。

本作の制作にあたり山内は、YCAMの研究開発チームYCAM InterLabと共同し、汗と皮膚表面などに棲息する常在菌の関係性から体臭のメカニズムに関する研究／開発を行いました。会場には、体臭が染みついた衣類が行き交うモニュメントや、微生物研究の観点から、汗と皮膚の微生物から体臭を人工的に発生させるモニュメントが登場します。このほか、会期中、公演後に行うポストトークでは、本作のバイオ・リサーチに関わった、YCAM InterLabスタッフや嗅覚文化研究の鈴木隆をゲストを招き、バイオ・テクノロジーや文化史の観点からも作品のテーマに迫ります。

■ 振子びじん (ねじ・びじん)

ダンサー、振付家、neji&co.主宰。2004年まで舞踏カンパニー、大駱駝艦に所属する。退団後、自身の体に微視的なアプローチをしたソロダンスや、ダンサーの体を物質的に扱った振付作品を発表する。2020年にカンパニー“neji&co.”を設立し京都を拠点に活動を開始する。目的を持たず、動いた瞬間に消え去ってしまう身振りと、それらを作品として統合する劇場の空間、舞台芸術の時間に注目し、ダンス作品を製作している。2011年、横浜ダンスコレクションEX審査員賞、フェスティバル/トーキョー公募プログラムF/Tアワード受賞。2016年、Our Masters土方異「異言/glossolalia」キュレーター。THEATRE E9 KYOTO第2期アソシエイトアーティスト。セゾン文化財団セゾン・フェローII。



写真：前谷開

■ 今村達紀 (いまむら・たつりのり)

ダンサー／振付家。愛媛大学理学部生物地球圏科学科卒業。堆積学専攻。京都在住。akakillike、ANTIBODIES Collective、ブルエゴナク、contact Gonzo、Monochrome Circus、Sung Yong kim、したため、多田淳之介、白井剛、小金沢健人、村田宗一郎、などの作品に参加。呼吸を止めて踊る「無呼吸」、関節を鳴らす「関節話法」、曾祖父の記憶と踊る「もけもけしたもののがはみ出てくる」などの作品を制作。毎日どこかで息を止めて踊る「本日の無呼吸」は今年で11年目。



写真：前谷開

開催概要

山内祥太+YCAM 新作パフォーマンス&インスタレーション
匂いのモニュメント 忘れ去られたエロス2025年1月11日(土) 19:00開演、12日(日) 15:00開演、18日(土)
19:00開演、19日(日) 15:00開演

会場：山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB

公演約60分 ※各日15分前開場

コンセプト・構成・演出・映像：山内祥太

共同演出：振子ぴじん(ダンサー、振付家)

演出助手：今村達紀(ダンサー、振付家)

出演：今村達紀(1月11日、12日)、振子ぴじん(1月18日、19日) ほか

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

助成：令和6年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

協力：KYOTO EXPERIMENT、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 [TAAP]、高砂香料工業株式
会社、山口県産業技術センター、株式会社宇都理化、赤壁善彦、白須未香、樋口隆哉

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター[YCAM]

公演終了後イベント

要公演チケット

ポストトーク①

2025年1月12日(日) 終演後

会場：山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB

登壇：山内祥太、鈴木隆(元調香師、嗅覚文化研究)

アーティストと、「匂いのエロティシズム(集英社新書)」の著者による、現代
の嗅覚と匂いについて考えるトークイベント

ポストトーク②

2025年1月18日(土) 終演後

会場：山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB

登壇：山内祥太、津田和俊*、太田遥月* (*YCAMスタッフ)

汗と皮膚の常在菌から体臭について考えてきたプロセスについて話すトーク
イベント

アフター・アワーカフェ

2025年1月11日(土) 終演後～21:00、19日(日) 終演後～21:00

集合場所：2階ギャラリー 途中入退場自由

飲み物を片手に作品の感想を観客同士でお話するイベント

同時開催イベント

ウェンデリン・ファン・オルデンボルフ

Dance Floor as Study Room したたかにたゆたう

2024年11月30日(土)～2025年3月15日(土) 10:00～19:00

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA 入場無料

チケット情報

発売日：

11月2日(土)10:00～

チケット料金(整理番号付きチケット)：

前売券

一般： 2,500円

any会員・特別割引： 2,000円

25歳以下： 1,000円

※特別割引：シニア(65歳以上)、障がいを
持つ方及び同行の介助者1名が対象

※未就学児入場不可

※any会員は1会員2枚まで

※車椅子席は事前にお問い合わせください

※前売券は各公演前日の19時まで販売

当日券

一般： 3,000円

25歳以下： 1,500円

電話/窓口

山口市文化振興財団チケットインフォメーション

083-920-6111

10:00～19:00

※火曜休館(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29
日～1月3日)は休館

インターネット

www.ycfcp.or.jp

託児サービス

有料。各公演の1週間前までにチケットイン
フォメーションまでお申し込みください。

車イス席

事前にお問い合わせください。